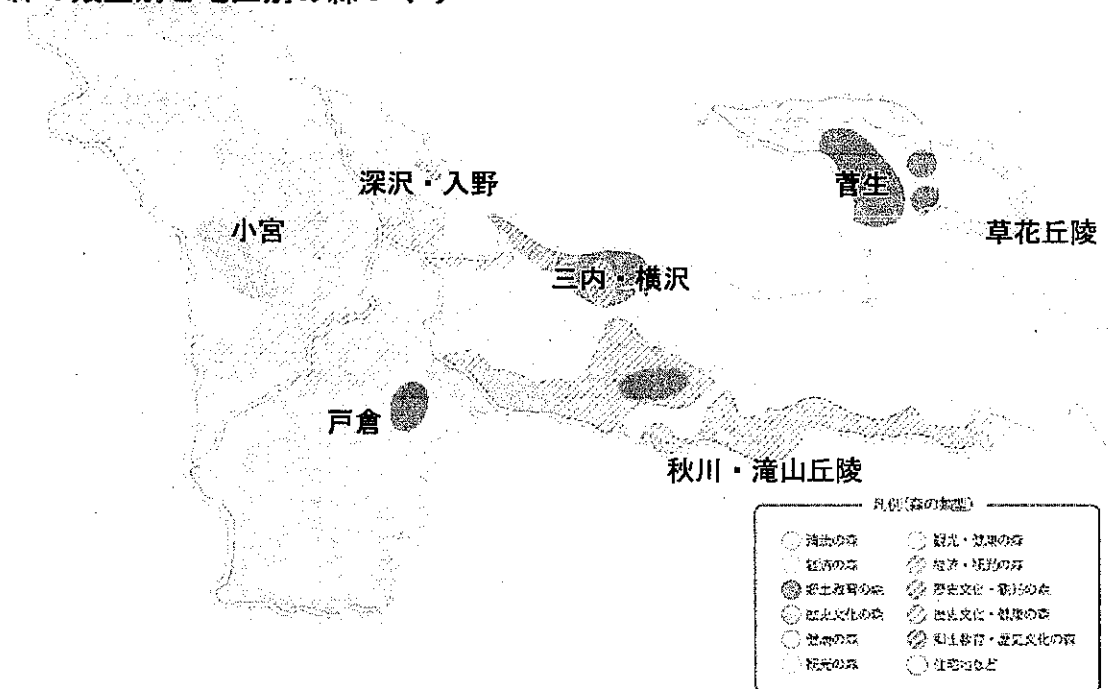


#### IV 地区別の森の特徴と課題及び具体的取組

※ この計画の対象となる市域の森を地形、資源の分布などと町内会・自治会の単位などから、主要となる7つの地区に区分しました。

ここでの地区別の整備方針は、地域の方々などとの協働を基本に整備します。

#### 森の類型別と地区別の森づくり



清流の森	豊かな緑と水に恵まれ、現状でも森の持つ水源かん養機能などが十分に発揮されているとともに、様々な動植物が生息・生育していると考えられ、将来にわたって現在の姿を守り伝えたい環境が存在する森
経済の森	スギ・ヒノキの人工林が中心の林相で、現在経済林として管理されている森や林産物が生産されている森、また、今は手入れがされていないが今後木材生産を行っていく森
郷土教育の森	人々の暮らしと結びつきが深かった森(里山)で、人が入りやすく、炭焼きや落ち葉かき、山野草を用いた郷土料理などの「森の恵み」を暮らしに活かす知恵や技を伝えられるフィールド・拠点がある森
歴史文化の森	歴史が古く著名な文化財がある寺院や地域に根ざした神社、それらを囲む鎮守の杜(森)、城跡、遺跡、古い街道など、地域の歴史や文化を伝える資源が周辺に多く存在する森、昔話などが残る森
健康の森	散策やハイキング、登山をはじめ、山岳耐久レース(トレイルランニング)、ロッククライミングなど、健康づくりやレクリエーションのほか、趣味、スポーツなどにも利用できる森
観光の森	キャンプ場、釣り場などのレジャー施設、季節の花の名所や特長的な自然景観などの見どころがあり、宿泊施設や飲食店が充実しているなど、観光客を受け入れることが可能な森

## 1 戸倉地区

### <構想による森づくりの方針>

経済林としての管理を持続させながら、沢沿いの豊かな自然景観を保全し、水道水源林として水源かん養機能の維持を図るような森づくりを進めます。

また、城山から秋川溪谷瀬音の湯までを巡ったり、戸倉三山での登山や眺望を楽しむなど、資源を満喫しながら散策できる森を目指します。

### (1) 現状と課題

戸倉三山を結ぶ尾根道（標高600から800メートル）が分水嶺となり、盆堀川が造る谷筋で、古くから戸倉財産区に代表される経済林としてのスギ・ヒノキの用材生産が続けられ、今でも間伐などの施業管理が続けられています。

本地区は、歴史のある林業地帯ですが、急斜面や露岩地帯などでの植林は行われていないため、ウワミズザクラ・コナラ・カシ類など、自然植生が随所に残っています。

山肌の隆起が複雑で、特別大きな山々ではありませんが、たくさんの沢が盆堀川に合流し、それぞれの沢で多くの滝を見ることができます。

水の豊かな一帯といえる盆堀川は、流域水道水の取水も行われているため、水源林としての機能も持ち合わせています。

沢登りなどの活動を行っている人々の間では、盆堀川沿いの沢、滝を巡ることは知られているようですが、沢、滝にある倒木などが景観を損ね、さらにその倒木が人の侵入を阻むように折り重なっており、景観やルートの整備が必要と思われる沢が多くあります。しかし、沢登りなど、レジャーで沢に多くの人が立ち入ることと、水源の森を保全することの両立の難しさも考えなければなりません。



戸倉三山を巡る尾根道のハイキングコースは、道標も整備されていて、刈寄山（かりよせやま）、盆堀川支流の滝市道山（いちみちやま）、臼杵山（うすきやま）のそれぞれの山頂では、近年、市有林などの伐採が行われ、眺望が確保されており、ハイカーの目を楽しませておりますが、尾根道のアッ

ブダウンが激しく、健脚向きのコースといえます。市道山から盆堀に下るコースもありますが、現在は、倒木にふさがれた状態になっています。この道を整備して半分の行程を楽しめるようにするなど、一般のハイカーの利便性の向上を図る必要があります。

(2) 地区別の取組

① 城山へのルート整備

山頂までの複数のルート整備を行います。

② 戸倉三山整備

森林パトロールにおいて草刈、倒木処理等を行い、安全性の高いコースづくりを行います。

③ 日向峰道整備

草刈、危険木処理、雨水対策等の整備を行います。

④ 日向峰景観整備

植樹したコナラ等の下草刈を行い、維持管理に努めるとともに、沢戸橋から日向峰までの景観整備を行います。

⑤ 滝めぐりルートの整備

盆堀地内の滝調査結果に基づき、滝めぐりができるよう、ルート整備や安全対策等を行います。

⑥ 他の自治体と連携した森林整備

みなと区民の森や新宿の森を活用した住民交流や環境教育など、連携した森づくりを進めます。

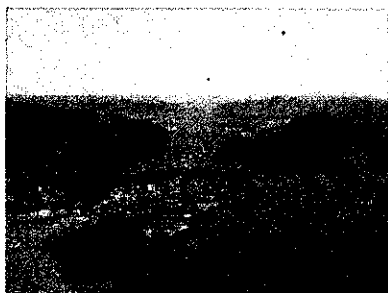


景観整備した城山山頂

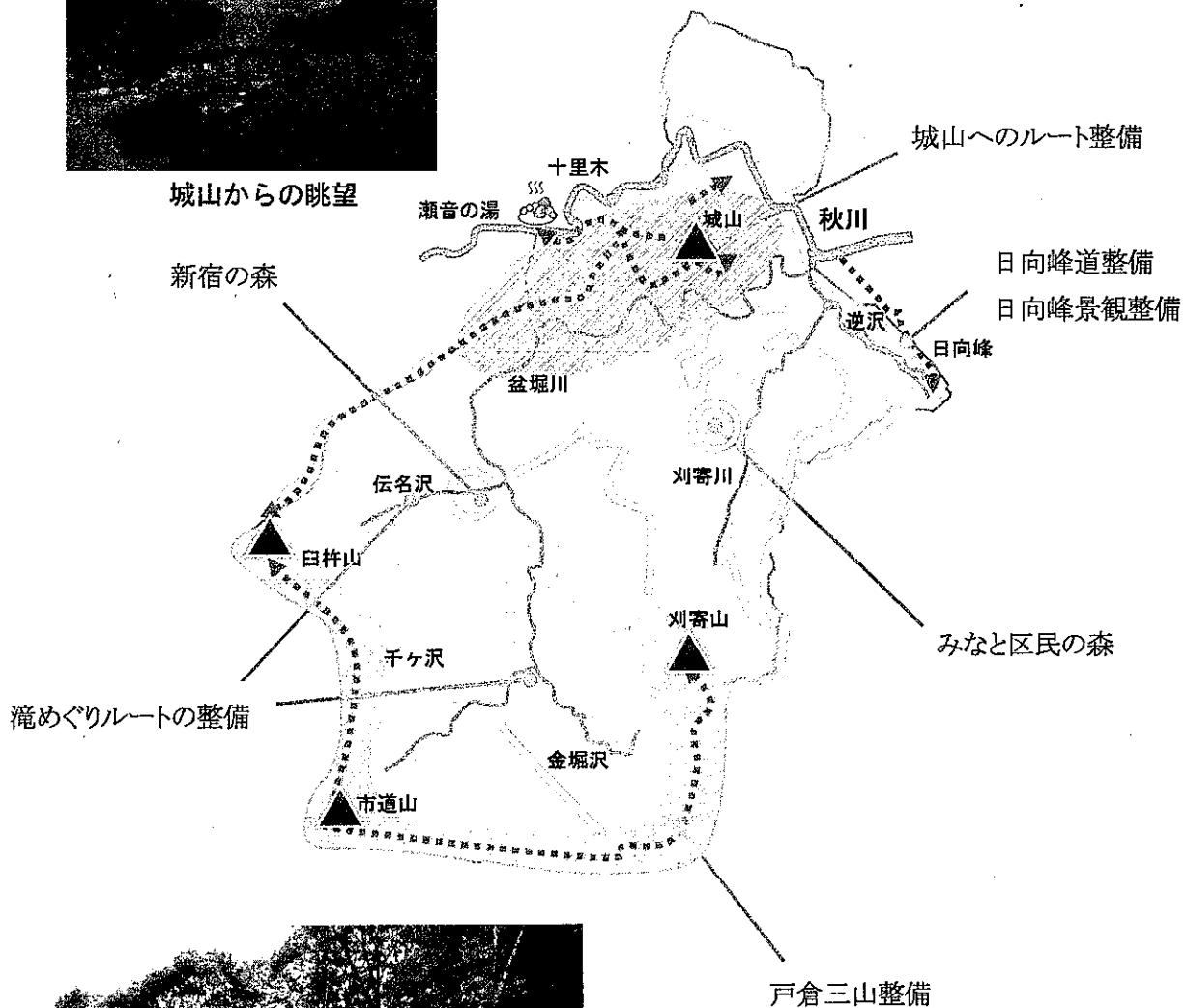


日向峰道危険木処理

# 戸倉地区整備計画図



城山からの眺望



市道山山頂



刈寄山山頂

## 2 小宮地区

### <構想による森づくりの方針>

養沢川源流域や大岳沢などがある森では、水源かん養や生物多様性保全といった機能を維持・向上するような森づくりを進めます。

多くの人々が訪れる秋川流域では、奥多摩に連なる山々や鍾乳洞、沢、滝、川などの自然資源を活かし、人々が楽しめるような森づくりを進めるとともに、養沢活性化委員会とも連携し、地域の活性化につなげます。

### (1) 現状と課題

あきる野市の北に位置する奥山は、要にあたる大岳山に広がるミスナラ、イヌブナなどの亜高山植生の広葉樹林から始まる地区ですが、馬頭刈尾根と金比羅尾根に挟まれた養沢川沿いの小宮地区の大半は、林業地帯で、スギ・ヒノキ林が広がっています。

急峻な場所や沢筋、尾根道や露岩地帯などでは、広葉樹が残っていますが、その様相は里山とは違い、原生的な植生であることが判断できます。

沢の奥や尾根の平らな場所で炭窯跡や2本、3本の株立ちのコナラ、イヌシデ、ケヤキなど、かつては、炭焼きなどに利用されていたと思われる樹種を目にすることができます。

林業地帯の小宮地区は、手入れの行き届いた美林や放置林がモザイク上に配置されていることから、山林地主が細かく分かれていることが容易に判断できます。

人里に近い林区では、人為的に持ち込まれたモウソウチクが人手を離れて林内に広がり、スギ・ヒノキ林を枯らしている場所も目にすることから、人が山に入らなくなったことが伺えます。また、この地域は、養沢神社のトチノキ、五柱神社のスギなど、東京都で最大の大径木があり、その他にも光明山登山道沿いのスギ、横根峠の3本立ちのスギ、落合の八幡神社のスギ、軍道のメタセコイアなどの大径木の木々が残っています。

また、この地域の特徴としては、瀬音の湯、ふるさと工房などの施設があり、ハイカーの散策の拠点になっています。

養沢地区では、サルギ尾根の山道に山岳レスキューと連携した道標を設置し、ハイカーの安全を図っています。また、軍道では、石原沢の景観整備を進め、光明山に向かうハイカーの目を楽しませる取組を行っています。

(2) 地区別の取組

① 小宮地区の全体を観光資源に活用するとともに、環境学習などの拠点（森の学校）づくりを進めます。

② サルギ尾根整備

倒木処理、安全対策等、尾根道の整備を行います。



サルギ尾根道標設置

③ 横根道整備

道の整備を行い、回遊性を図ります。

④ 三ツ合周辺登山道整備

登山道や滝へのルート of 整備を行い、回遊性を図ります。

⑤ 宝沢周辺登山道整備

登山道の整備を行い、回遊性を図ります。

⑥ 馬頭刈山登山道整備

ルート整備及び景観整備の手法を検討します。

⑦ 平和橋、木和田平周辺古道整備

平和橋、木和田周辺の古道を整備し、災害時の移動ルートを確認します。

⑧ 石原沢周辺景観整備

花木の植栽等、景観整備を行います。



石原沢周辺景観整備



サルギ尾根道標設置

⑨ 瀬音の湯周辺景観整備

植樹等の景観整備を行うとともに、郷土の恵みの森づくりに寄附をいただいた企業や市民などに対し、記念樹の植樹と寄附者の名前を入れたプレートを設置します。

⑩ 青木平地区景観整備

景観整備で植樹した花木の草刈等を行うとともに、周辺の景観整備の拡充を図ります。

⑪ 乙津地区景観整備

景観整備で植樹した花木の草刈等を行うとともに、周辺の景観整備の充実を図ります。

⑫ 五柱神社周辺景観整備

大スギの保護対策及び景観整備を行います。



五柱神社の大杉

⑬ 寺岡地区景観整備（にたん坂）

花木の植栽等の景観整備を行います。

⑭ 加茂原景観整備

景観整備で植樹した場所の草刈等を行うとともに、周辺の景観整備の充実を図ります。

⑮ 小宮地区巨木巡りルート整備

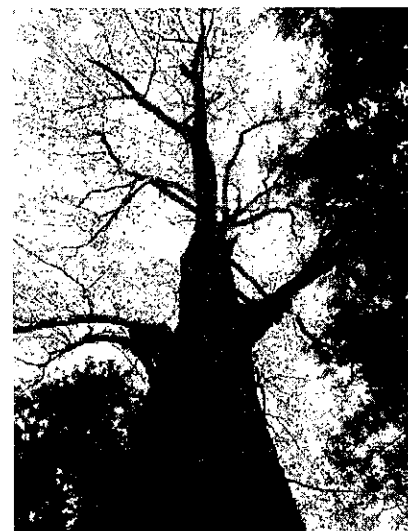
巨樹・巨木を巡るルートを整備します。

⑯ 養沢地区ホタル保全活動

ホタルの繁殖・保護活動を行います。

⑰ サントリー天然水の森事業

サントリーホールディング株式会社との連携を図り、健全な森づくりを進めます。



養沢神社の大トチノキ

## 小宮地区整備計画図



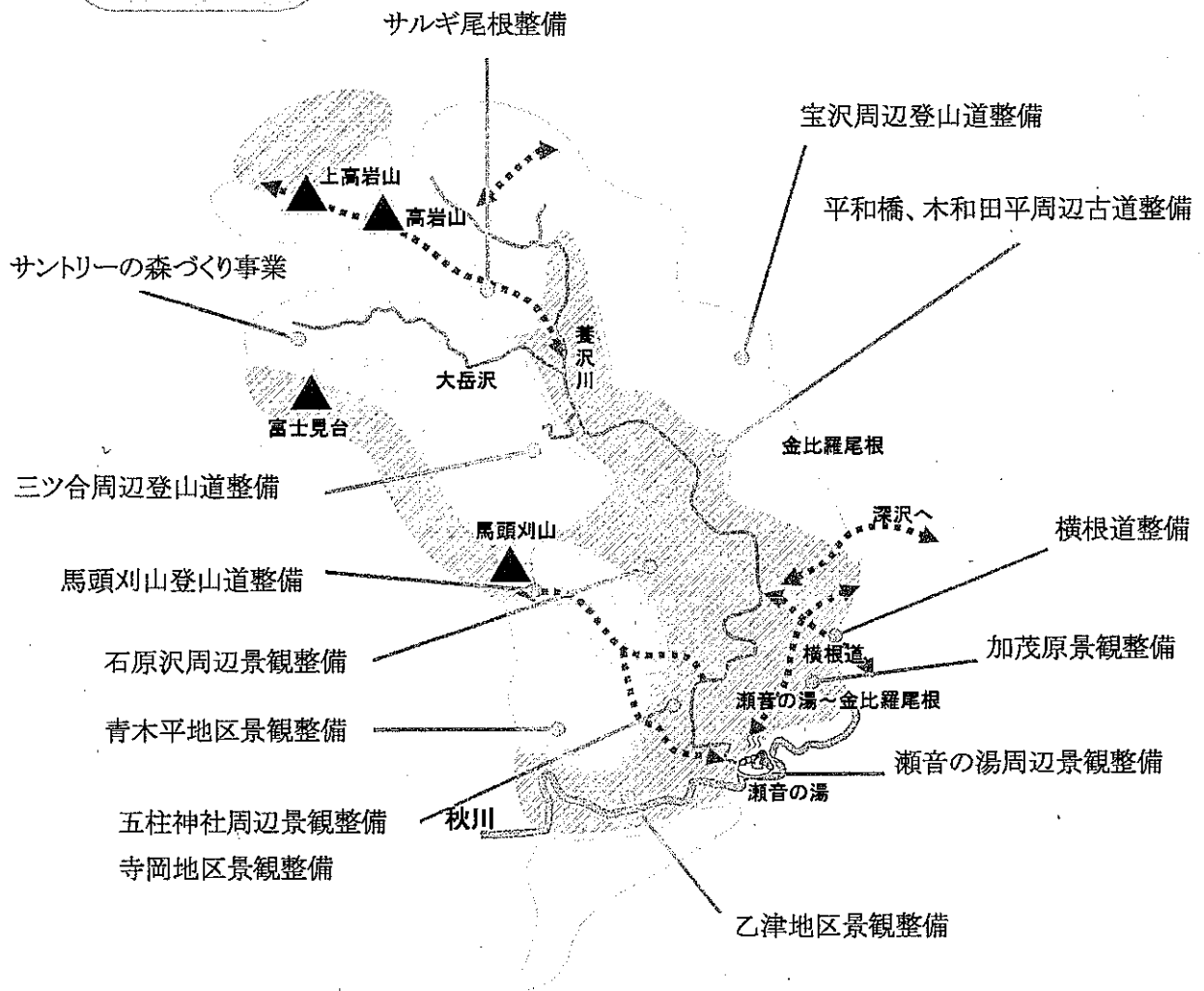
サルギ尾根道標設置



石原沢周辺景観整備

養沢地区ホタル保全活動

小宮地区巨木巡り  
ルートの整備





### 3 深沢・入野地区

#### <構想による森づくりの方針>

JR武蔵五日市駅のほど近くに位置するこの地区では、南沢アジサイ山、五日市憲法草案発祥の地である深沢家屋敷跡、深沢小さな美術館などの魅力ある資源を活かし、さらに魅力を高める森づくりを進めます。

四季折々の風景を楽しめるような花木の植栽、JR武蔵五日市駅から秋川渓谷瀬音の湯や金比羅山に至る回遊ルート確保などを図ります。

#### (1) 現状と課題

深沢地区は、金比羅尾根と日の出町との境の尾根に挟まれた地域であり、小宮地区同様に長く谷筋になっている地域で、スギ・ヒノキ林が続いています。

林業の歴史は古く、江戸城建築に資材を提供するなど、優良材の産地としての歴史があります。現在は、殆どの森林が戦後の拡大造林により植林された森で、露岩の上にウラジロガシの大径木（深沢山抱きの大榎）や深沢家屋敷跡の大杉があります。この付近の岩は、石灰岩（東京都指定天然記念物鳥の巣石灰岩）で、露岩がところどころに見受けられます。

深沢林道の奥に、林齢の高い林区があり、間伐された美林があります。また、針葉樹を全伐して部分的に広葉樹が植林された区画もあり、金比羅尾根に沿ってサクラ、モミジが植えられ、ふもとに下がるにしたがってコナラなどが増えるような樹種配置になっています。

南沢地区では、山地を利用してアジサイが植えられ（南沢アジサイ山）、毎年アジサイの花を楽しむことができ、大勢の観光客が訪れています。

金比羅尾根から南沢アジサイ山に向かう堀田尾根では、大径木のモミを目にすることができますが、枯損木が多く見受けられます。

深沢地区の取組として、アジサイ山を基点に花木の植栽を進めており、JR東日本の協力でシャクナゲを沿道に植栽したり、五日市憲法草案が発見された深沢家屋敷跡近くにヤマボウシを植林したりと、花香る深沢を作り上げる取組を続けるとともに、「深沢山抱きの大カシ」と名付けられた大



シャクナゲの植樹

径木のウラジロガシに通じる山道を整備し、さらにその道が金比羅尾根につながるように整備を進めています。また、この地域は、武蔵五日市駅から徒歩で散策でき、駅から沿道に沿って森の妖精「ジージ」のオブジェが設置されハイカーを見守っています。

## (2) 地区別の取組

### ① 深沢地区（全体）

深沢を訪ねる人々が、四季を通じて楽しめるよう、花木の植樹、森のみちづくりを行います。

### ② 森の妖精ジージの活用

深沢の象徴である「森の妖精(番人)ジージ」を武蔵五日市駅から深沢までのルートや五日市地区内に設置し、深沢のPRに努めます。



森の妖精ジージ

### ③ 深沢地区（堀田尾根）

深沢のシンボルである「深沢山抱きの大カシ」を中心に、金比羅尾根やアジサイ山への回遊ルートを整備します。

### ④ 南沢地区（南沢林道）

林業の基盤整備とともに、瀬音の湯への回遊を図るため、林道の整備を行います。

### ⑤ 南沢地区（アジサイ山周辺）

南沢地区に花木を植え、景観整備を行うとともに、散策路等の適切な維持管理と周辺ルートの回遊性を高めます。

### ⑥ 深沢地区ホタル保全活動

ホタルの繁殖・保護活動を行います。

### ⑦ 樽地区

金比羅山への昔道整備、樽沢林道沿いの整備を行います。

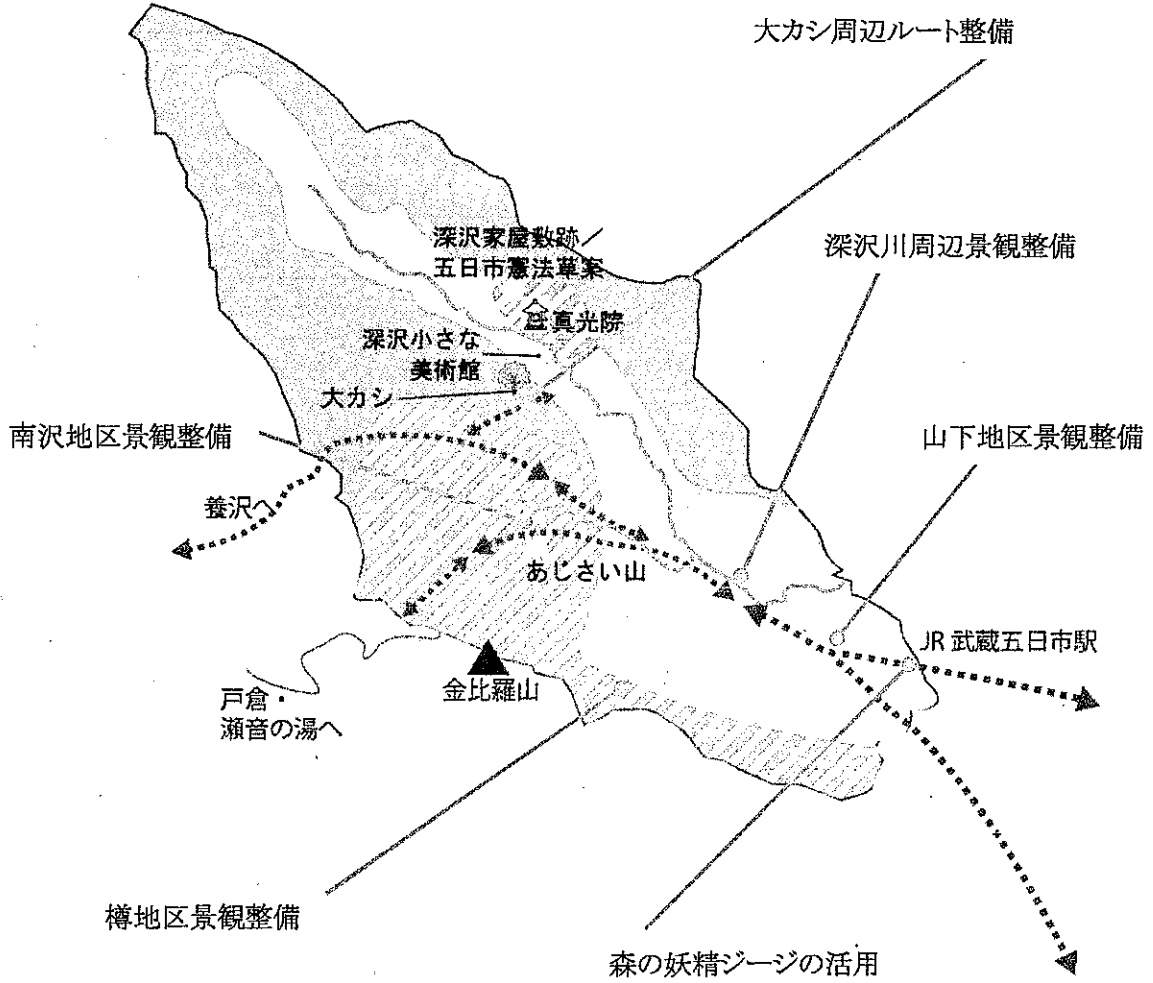
### ⑧ 山下地区

休耕田を活用した景観整備の手法の検討及び整備を行います。

# 深沢・入野地区整備計画図

花木の植栽

深沢地区ホタル保全活動



大カシへのルート整備



山抱きの大カシ

## 4 菅生地区

### <構想による森づくりの方針>

森の維持管理への地域住民をはじめとする人々の参加、遊びや体験、学習活動を通じた森とのふれあいを高めるとともに、魅力ある地域づくりのための景観を整備するなど、新たな人と森とのかかわりを創出しながら、森づくりを進めます。

地域の外周など、気軽にハイキングや散策を楽しむことができるように道を整備し、健康づくりに活用するなど、多様な森の魅力を高めます。

### (1) 現状と課題

鯉川の源流部で、広い谷状の地形が作られており、かつては鯉川沿いに谷津田が広がっていました。現在も数枚の水田が維持され、スギ林などでも田んぼの跡地と思われる平地林が鯉川沿いの奥に広がっており、谷津田の面影を残しています。

スギ・ヒノキが植林された以外のところはコナラ・イヌシデなどが高木として雑木林が成り立っていますが、萌芽更新の時期を過ぎており、伝統的な農用林管理が難しい状況といえます。さらに中低木にヒサカキが侵入して、関東南部低地の自然植生の照葉樹林への遷移が始まっています。これは、人の手が入らなくなって久しい証拠です。

今後、雑木林としてコナラ・イヌシデの高木林を残すか、伐採して新規に落葉広葉樹を植え直して、かつての農用林の姿を取り戻すか難しい判断を迫られる時期に来ています。なお、高木群落を残しても、ヒサカキ、カシ類などが繁茂して更新できない高木が枯損した場合、常緑樹の暗い森へとその様相は変わっていくと思われます。

現在の高木落葉樹林を維持管理する場合、間伐・除伐等の作業で林床を明るくして陽樹（リョウブ、クロモジ、ツツジ類など）が生育できる環境を維持することで、次の世代の高木の幼樹が育つ環境をつくることが重要となります。また、農用林として復元する場合、一度、今の森を伐採して、新たにコナラなどを植林することになります。植林後は草刈などの保育作業が数年続き、成林後は定期的な伐採による萌芽更新の作業が必要となります。これらの課題を解決するため、地域との協働において、調査・研究を行い、里地里山の整備に取り組んでまいります。

(2) 地区別の取組

① 菅生若宮子ども体験の森事業

実行委員会の活動を充実させ、フィールド整備、子ども体験塾等を開催するとともに、各種環境教育事業等の場の提供を行います。

② 里地里山の再生

里地里山の整備を行います。

③ 竹林の整備と活用

市所有の竹林の管理を菅生町内会に委託し、竹林の整備を行うとともに、イベントを開催し、竹等の活用を図ります。

④ 菅生外周尾根道の整備

北尾根及び南尾根の整備を行います。

⑤ 環境教育の推進

今後の活用方法等について、関係機関等と協議を行い、森づくりに着手するとともに、環境教育活動の場としての活用を図ります。

⑥ 産学官の取組

産（企業）学（大学）官（市）との協働において、里山風景の再生、里山体験学習、環境保全指導員等の後継者の育成に努めるとともに、生物多様性の調査研究を行い、環境教育を推進します。

⑦ 企業との連携

企業などと連携において、林業体験や企業の森など、市有林の活用を図ります。

⑧ 特産品の研究

菅生若宮子ども体験の森でシイタケなどを栽培し、地域づくりに役立てます。

⑨ 菅生地区ホタル保全活動

ホタルの養殖・保護活動を行います。

# 菅生地区整備計画図

ホタルの保全活動

里地里山の再生

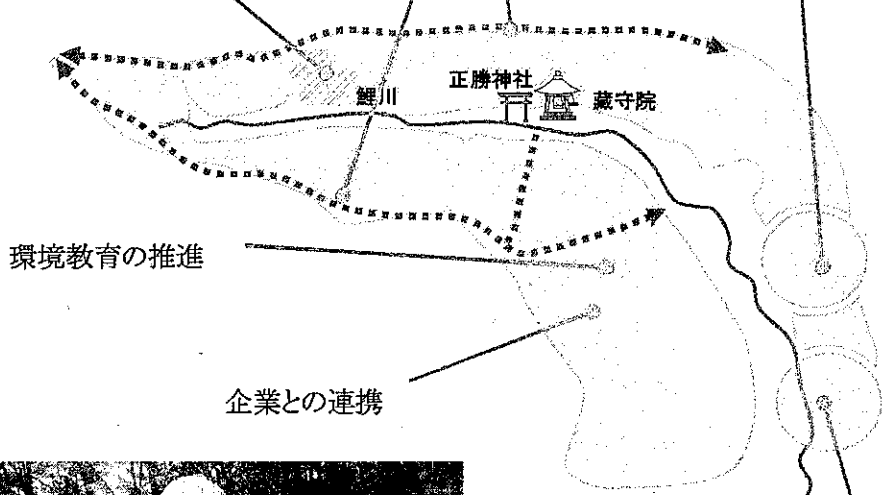


菅生外周尾根道

菅生外周尾根道整備

産学官の取組

竹林の整備と活用



菅生若宮子ども体験塾

菅生若宮子ども体験の森  
環境教育の拠点

## 5 草花丘陵地区

### <構想による森づくりの方針>

大澄山や浅間岳を中心に、郷土の自然と文化を満喫しながら散策できる森づくりを進めます。

一帯に点在する寺社をはじめ、隣接市も含めた地域資源（観光）との連続性も視野に入れ、森の魅力を高めます。

### (1) 現状と課題

大澄山周辺では特徴として、公園的な整備が行われ、ベンチや東屋が山頂に設置されていますが、木製ベンチなどの老朽化が進んでおり、十分な管理（公園管理）を行なう必要があります。（2010年10月に大澄山山頂からの雑木整理により、北東方向に眺望が開けました。）

山頂から離れると竹林が広がり一部では尾根道まで竹が侵入して山の反対側に広がる勢いで繁茂している所もあります。これも人が山に入らなくなり、人の生活と森が切り離されたことが原因といえます。

都道に分断された形になる月待山周辺は、ゴルフ場に隣接しているため、境のフェンスなどで道幅も狭くなっており、散策路としても楽しく歩ける工夫が必要です。



大澄山周辺の散策路

### (2) 地区別の取組

#### ① 大澄山周辺

平成22年度に観光ルートの実踏を行った結果を踏まえ、尾根道の整備やベンチなどの施設の維持管理について、東京都と協議を行い、観光の拠点としての整備を進めます。また、観光協会、羽村市等と連携し、観光イベントを開催します。

#### ② 観光ルートの整備

大澄山や浅間岳と周辺に点在している寺社を巡る観光ルートの検討、整備を行います。

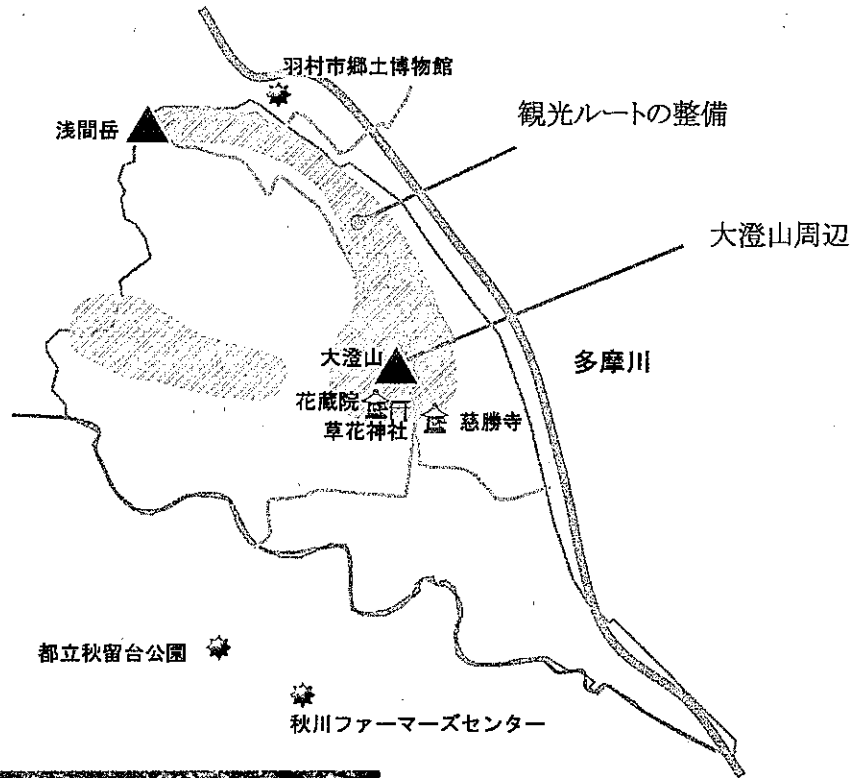
# 草花丘陵地区整備計画図



大澄山の休憩所（東屋）



大澄山に続く散策路



慈勝寺



## 6 秋川・滝山丘陵地区

### <構想による森づくりの方針>

秋川に沿ったゆるやかな丘陵地の広がり、弁天山、網代城山、都立小峰公園、カタクリ群生地や棚田の風景などの見どころ、広徳寺や周辺の寺社、地域に伝わる物語の魅力などを活かし、楽しく散策できる森づくりを進めます。

### (1) 現状と課題

秋川が削った河岸段丘で、標高も 200~300 ㍍ほどの丘陵で、段丘面は急峻で、一部では切り立った崖状になっています。このあたりの雑木林は、コナラやヤマザクラが主体となった雑木林を構成し、特に、ヤマザクラの密度が 1 ㍍に 30 本ほどありますが、林内木のため樹冠の広がりが少ないので、隣接木を減らし樹冠が広がるような処置をすれば、サクラの花見なども楽しめるようになると思われます。

土壌水分の関係で中低木にはヒサカキではなく、アオキが見られることが特徴といえます。

かつては雑木林として薪やキノコ栽培の原木などの利用は行われていたと思われますが、人手が入らなくなり木が適度に伐採されなくなったため、木が生長して自重が増し、急斜面では土壌がその木の重さを支えきれなくなり崩壊、崩落が進んでいると思われます。そのため、現在でも地形の変化は進んでいます。

サマーランドの緩斜面ではサクラ(ソメイヨシノ)が植栽され、さらにアジサイ(アナベル)が大規模に植栽され、観光スポットとなっています。東西に伸びる丘陵地には、希少な植生を残した地域が点在しています。弁天山山頂周辺にはミツバツツジの群落、雨武主神社周辺にはツガ林があり、緩斜面で雑木林のある切欠地区には、カタクリの自生地があり、保護されています。それぞれの面積は広くありませんが、多様な植生が残されていることから、生態系の多様性が維持されているといえます。今後の保護、保全については慎重に検討する必要があります。



雨武主神社



ツガの木

サマーランドのアジサイ園から丘陵の尾根に向かう散策路は道幅も広く、傾斜も緩く、高木のコナラ、モミが育っており、野外観察の良好なフィールドといえます。サマーランドの森の入り口部分に大きな東屋やトイレが完備されており、安全性や利便性では問題も少なくサマーランドと連携した動植物の観察など、子どもを対象として自然の中ではなかなか体験できないプログラムが実施可能と考えます。

## (2) 地区別の取組

### ① 雨武主神社周辺整備

鎮守の森として雨武主神社周辺の景観整備を行います。

### ② 古甲州道整備

サマーランドとの連携により、樹種の名札の設置、散策路の整備、イベントの開催などを実施するとともに、観光施策にも取り組みます。



森林調査（サマーランドとの連携）

### ③ 弁天山周辺昔道整備

弁天山登山道の入口付近の昔道を整備します。

### ④ 弁天山・網代城山周辺整備

弁天山・網代城山周辺の登山道の整備、景観整備、ベンチ等の設置を行います。

### ⑤ 高尾神社周辺尾根道整備

高尾神社から弁天山への尾根道を整備します。

### ⑥ 西秋川衛生組合周辺の森づくり

西秋川衛生組合周辺の尾根道を整備するとともに、谷津田を活用したビオトープづくり、果樹の植栽などを行います。

### ⑦ 広徳寺周辺尾根道整備

日向峰や広徳寺周辺の尾根道整備など、実施に向けた検討をします。

### ⑧ 南郷地区ホタル保全活動

ホタルの保護活動を行います。

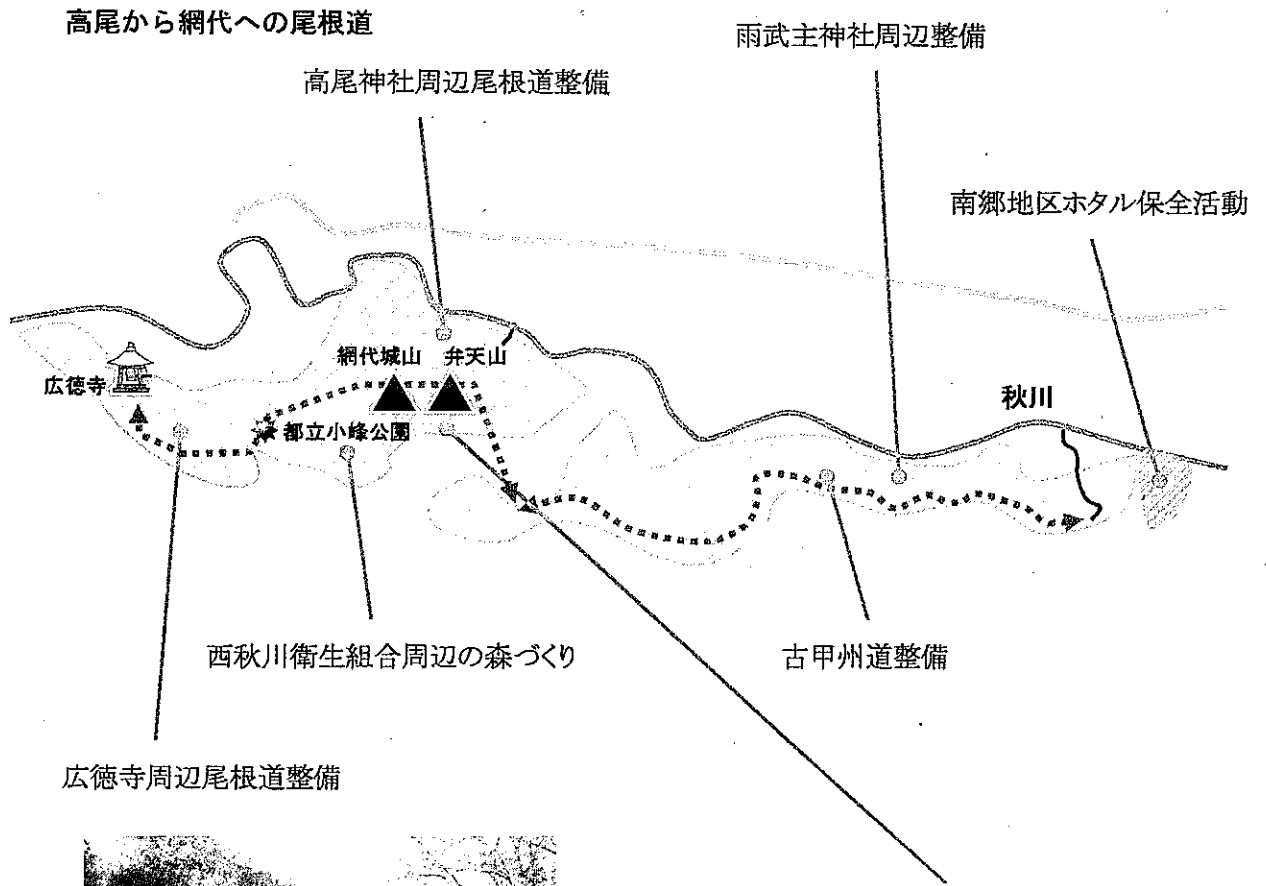
秋川・滝山丘陵地区整備計画図



高尾から網代への尾根道



切欠のカタクリ



広徳寺周辺尾根道整備



弁天山周辺の谷津田

弁天山周辺昔道整備  
弁天山・網代城山周辺整備

## 7 三内・横沢地区

### <構想による森づくりの方針>

横沢入里山保全地域での活動や成果を活かし、多様な主体による森づくりや資源を活かした体験学習などを進めます。

大悲願寺や三内神社（眺望）、伊奈石の石切場、地質的に特徴のある場所など、地区内及び近隣の歴史・文化資源を活かして、森の魅力を高めます。

### (1) 現状と課題

横沢入の谷津田は東京都の「里山保全地域」に指定されて、谷津田の管理は、都の定める管理方針に基づいて保全管理作業を行っており、生物多様性が維持される環境を守る取組が続けられています。

里山といっても谷津田を取り巻く森の半分は針葉樹に囲まれており、本来の広葉樹を中心とした里山的景観とは違う雰囲気を感じられます。これも戦後の拡大造林で植林が進められた結果と思われる。

横沢入を取り巻く尾根道も針葉樹、雑木林がモザイク状に混在していますが、人手が入らなくなって久しいと思われる。一部でアメリカ原産のテーダ松が植栽された区画があり、そのテーダ松も60年生ぐらいで、高木として樹冠を広げています。

一方で、三内神社から天竺山にかけてのヒノキ林はきれいに間伐され、下層植生もシダを中心に美しく広がっており、優良林といえます。特に美林は視覚的にも有効で、まさに三内神社から天竺山にかけての散策路は、森林浴の機能を持った森といえます。また、山道脇にソメイヨシノが植栽されており、花の時期にはハイキングを楽しむ人も多いと聞いています。



横沢入の谷津田



三内のヒノキ林

(2) 地区別の取組

① 天竺山周辺整備

天竺山周辺の尾根道整備、景観整備を行い、横沢入との回遊を図ります。

② 横沢入の活用

東京都等と連携し、横沢入を活用した自然体験学習を開催するとともに、周辺の寺社や伊奈石の石切場跡などの歴史・文化を巡るルートを整備します。



横沢入の谷津田

③ 小机地区昔道整備

青梅から五日市に至る青梅古道の一部で、慶応2年の武州打ちこわし一揆の一隊が、五日市の農兵隊などによる攻撃で敗退した場所である、まいまい坂や深沢への小机古道を整備します。



整備予定の小机古道



まいまい坂

### 三内・横沢地区整備計画図



三内神社（天竺山山頂）からの眺望



横沢入里山保全地域

